

総合版

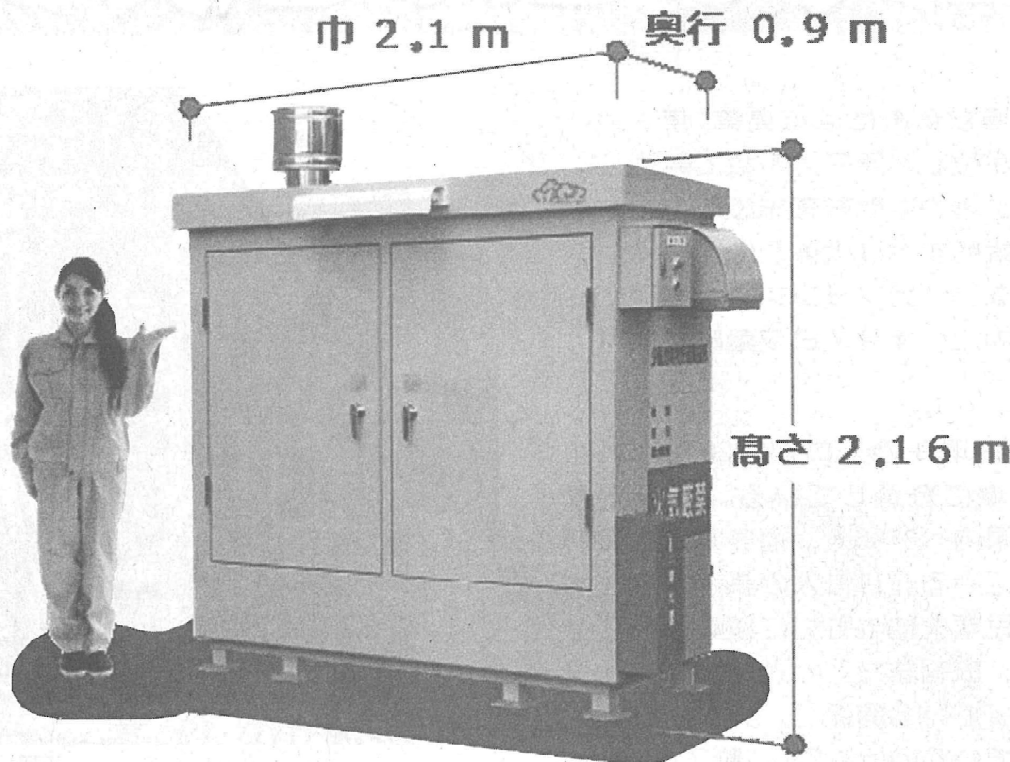
東京本社

〒104-0033

東京都中央区新川2-6-8

TEL 03(3551)9201 FAX 03(3551)9206

HELLOの購読の申し込みはフリーダイヤル 0120-66-9201



最新の安全装置などが備わった少量危険物保管庫などもこの機会に揃えたい。写真はヒイラギ提供のGSA-200

危険物に係る事故…物的要因が62.3%

ヒイラギの柗山社長「破損や腐敗疲労に注意」

埼玉県は3月に「県内の危険物に係る事故発生状況」の速報を発信し、危険物施設での事故急増に対して警鐘を鳴らしている。



埼玉県内で発生した危険物に係る事故件数は、コロナ禍であった2020年以降増加傾向が続いている。

事故の発生原因を人的要因、物的要因、その他の要因と不明などに区別した場合、最近の5年間では人的要因が88件(全体の31.9%)物的要因で172件(全体の約62.3%)となった。

発生原因を詳細にみると、物的要因では、破損によるものが最も多く、次に腐敗疲労などの劣化によるものとなっている。

このことから、消防庁では予防行政の

観点から火災による被害を軽減するため、一定の性能・機能を有する消火設備、警報設備、避難設備などの消防用設備を設置し適正に維持するほか、防火管理者を選任して消防計画の作成やこれに基づく消火、通報、消防用設備などの点検整備など、防火管理上必要な設備を徹底する方針を打ち出した(2025年3月発行消防年報から)

消防署などに導入されている危険物保管庫のメーカー「ヒイラギ(埼玉県春日部市)の柗山浩幸社長によると「ネットワーク力と防火意識の高さを持つ全国のSSであっても、防火管理上必要な設備が破損や腐敗疲労などで劣化しているのは、十分に防火管理が対策されているとはいえない場合があります」と定期的な点検を呼び掛けている。